

# 昭和38年度例会

例会には第1部と第2部とがあります。

## 第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 へて申し込むこと。

## 第2部 選定題目講演会

つぎの日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にして下さい。

主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員	主 題	会期	申 込 締切日	受 持 委 員
豪 雨	6月	4月25日	予 報 課：石原	(昭和39年)	太陽活動、放射	1月	長期予報：朝倉
乱 流	6月	4月25日	測 器 課：清水		気 候	1月	長期予報：朝倉
山の気象	6月	4月25日	予 報 課：奥山		気象電気	1月	気 象 研：今井
水収支	7月	5月25日	予 報 課：石原		レーダー気象	2月	気 象 研：今井
高層気象	7月	7月9日	高 層 課：関口		測 器	2月	測 器 課：清水
気象学史と気象教育	8月	6月20日	気 象 研：渡辺		長期予報	2月	長期予報：朝倉
生 気 候	9月	7月20日	気 象 研：神山		数値予報	2月	気 象 研：相原
気象災害	10月	8月20日	気 象 研：渡辺		融 雪	2月	予 報 課：石原
気象統計	10月	8月20日	長期予報：朝倉		メソ気象	3月	気 象 研：渡辺
大気汚染	11月		気 象 研：神山		豪 雪	3月	気 象 研：相原
風のシンポジウム	11月		測 器 課：清水		航空気象	3月	東京航気：上松
台 風	12月		気 象 研：相原				

## 8月の例会

主 題：気象学史と気象教育

会 期：昭和38年8月23日(金) 10時より

会 場：気象大学校東京教場

講演題目

1. 根本順吉(気象庁)：気象学史の二、三の資料  
一とくに群芳譜占候録について一
2. 奥田 穰(気 研)：災害と治水の関連について(Ⅱ)、一岐阜県治水史より一
3. 金関義則：中川と寝屋川
4. 荒井隆夫(気象庁)：冷害の信憑性
5. 篠田政吉(気象庁)：馬琴日記の天気記録について
6. 久米庸孝(羽田航空)：嘉永元年大地震を目撃したダイアナ号について

7. 白岡之雄(気象庁)：最近10年間の研究論文より見た気象技術者

8. 渡辺和夫(気 研)：気象における現象の移動概念

9. 渡辺次雄(気象大学)：地衝風偏倚の研究における関連度について、一気象学発展の法則追求に関する研究(Ⅰ)

10. 鍾沼寛一(気 研)：日本における気象業務の組織化について、一中村精男を中心として一

11. 堀内剛二(気象大学)：日本科学技術史における断層

以上、何れも講演時間は20分

特別講演

福永恭助：幕府海軍と気象学

## 10月例会の研究発表募集

主 題：気象災害

会 期：10月25日(金)

会 場：気象庁第一会議室

申 込 先：東京都杉並区馬橋気象研究所 奥田 穰

切期日：8月20日

主 題：気象統計

会 期：10月4日(金)

会 場：気象庁第一会議室

申 込 先：東京都杉並区馬橋気象研究所 藤田敏夫

切期日：8月20日